

懿徳天皇、
いとくてんわう

安寧帝の第二子なり。
あんないてい だい

母は淳名底仲媛皇后にして、
はくぬなそこなかつひめくわうごう

安寧帝の十一年、
あんないてい

立ちて皇太子となる。
た くわうたいし

三十八年十二月、

安寧帝崩ず。
あんないていほう

元年辛卯、
ぐわんねんかのとう

春二月四日壬子、
はる みずのえね

天皇、位に即く。
てんわう くらゐ

時に年四十四。
とき

是を
これ

大日本彦耜友天皇となす。
おほやまと ひこすきともすめらみか

秋八月丙午の朔、
あき ひのえうま ついたち

安寧天皇を葬る。
あんないてんわう ほうむ

九月十四日己丑、
つぎのちうじ

皇后を尊びて
くわうごう たふと

皇太后と曰ふ。
くわうたいごう い

二年壬辰、
ねんみずのえたつ

春正月五日戊寅、
はるしやつ じちのえつ

都を輕に遷し、
みやこ かる うつ

是を曲峽宮と謂う。
これ まがりをのみや い

二月十一日癸丑、
みづのやうじ

天豐津媛を立て、
あまとよつ ひめ た

皇后となす。
くわうじゆ

二十二年壬子、
みづのえね

春二月十二日戊午。
はる じちのえつま

觀松彦香殖稻尊を立て、
みまつひこか へしねのみこと た

皇太子となす。
くわうたいし

三四年甲子、
きのえね

秋九月四日辛未、
あき かのとひつじ

天皇崩ず。
てんわうほう

年七十七。

畝傍山南織沙谿上陵に葬る。
うねびやまのみなみまさこのたにのうへのみさぎ じやうむ

追諡して懿德天皇と曰ふ。
つゐし いとくてんわう い